



**インパクト×農山漁村**  
**～企業の継続的な取組に向けた環境づくり～**



2026年3月13日（金）

# 「インパクト」とは？

## 農山漁村の課題

- 高齢者の引退等による農業従事者の急減
- 農業の生産性向上や持続可能性の両立
- 農山漁村のコミュニティ維持 等

## 取組

- 多様な人材が農村に関わる機会の創出
- 農村における所得の向上と雇用の創出（経済面）
- 農村に人が住み続けるための条件整備（生活面）

## インパクト

1

地域経済の活性化

2

農山漁村の持続可能な  
生活環境の維持

3

農山漁村における  
災害レジリエンスの向上

4

ネイチャー  
ポジティブ

5

ウェルビーイング  
向上

6

気候変動の緩和

7

気候変動への適応

# インパクト証明書とは

## 証明対象

### インパクト 証明書

資金調達等に繋げる

1. 農山漁村の課題解決に向けた「取組」が行われる
2. 取組が今後も「継続」する見込である
3. 特定の社会・環境「インパクト」の創出に繋がる

### 取組証明書

多くの企業等による参画を促進

(上記の1・2)

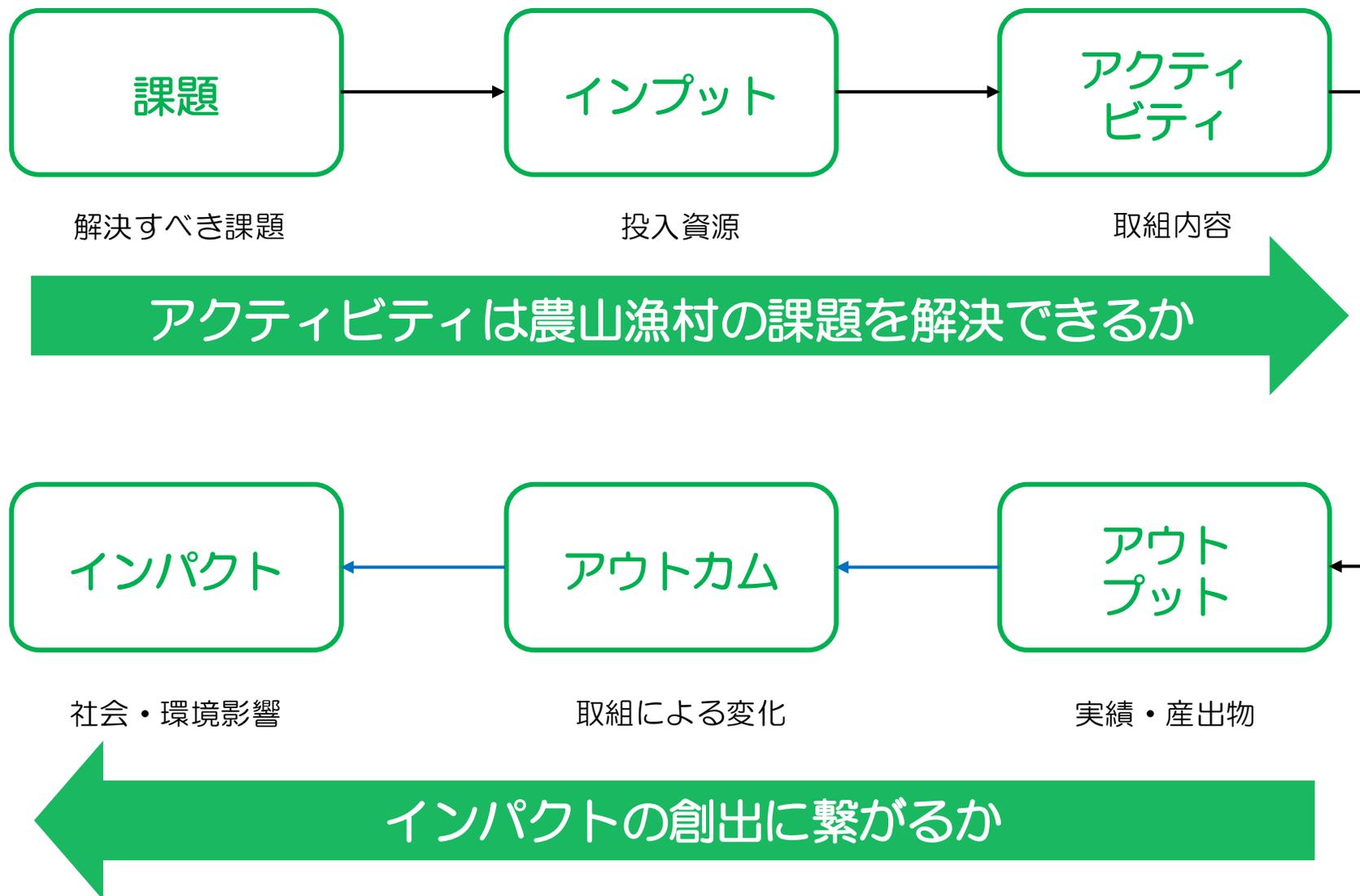
# インパクト測定・管理の仕組み（IMMプロセス）



- a. 農山漁村の課題解決に向けた継続的な取組・インパクト創出が、企業の経営方針に含まれているか
  - b. 農山漁村の課題解決に向けた継続的な取組・インパクト創出が、経営の重要課題として位置づけられているか
- a. 目標実現に向けて、ロジックモデルのアウトプット・アウトカム・インパクトを設定しているか
  - b. 企業の強みや独自性が、農山漁村の課題解決に向けたインパクト創出に繋がっているか
  - c. 多様なプレイヤーと連携し、農山漁村の課題解決に向けたインパクト創出に取り組んでいるか
- a. 戦略に沿って、合理的な指標を設定しているか
  - b. 指標の測定・管理のためのフレームワークを構築しているか
- a. 指標の管理をガバナンス体制に統合しているか
  - b. 農山漁村における取組や指標の推移、見込について、外部に開示しているか
  - c. 目標を達成できているか、できていない場合は改善のための施策を策定しているか

合計10の基準にもとづきプロセスを構築

# インパクト創出への道筋（ロジックモデル）



# インパクト創出に向けて

| インパクト             | アウトプット・アウトカム<br>分類 | 概要                    | 指標             | 目標               |
|-------------------|--------------------|-----------------------|----------------|------------------|
| 地域経済活性化           | アウトプット             | 農林水産業所得の増加            | ◆◆市の農林水産事業者の所得 | ◆◆市の農林水産事業者の所得向上 |
| 気候変動の緩和           |                    | 取組からJクレジットの発行         | 発行したJクレジット数    | □個/年のJクレジットを発行   |
| 地域経済活性化           | アウトカム<br>(短期)      | 観光等による交流人口の増加         | ◆◆市の交流人口数      | ◆◆市の交流人口増加に転じさせる |
| 農山漁村の持続可能な生活環境の維持 |                    | ブランド化による地域外の企業との連携の実現 | ◆◆市外の企業との連携件数  | ◆◆市外の企業との連携の増加   |

開示基準・国際目標との接続を見据えて設定



# 期待されるベネフィット

## インパクト証明書 & 測定・管理プロセス

環境・社会への「価値」を可視化

ブランド



社会・環境価値の可視化による信頼向上

人材



人材の採用・定着を促進

事業



顧客・パートナー獲得、拡大に寄与

資本市場



投資家評価・企業価値の向上



**「インパクト証明書」を活用して  
農山漁村に新たな未来を切り拓きましょう！**

# アジェンダ

- 14:12～14:17：プレゼンテーション  
企業と農山漁村をつなぐ「インパクト証明書」の役割と可能性
- 14:17～15:00：パネルディスカッション  
インパクト×農山漁村 -企業の継続的な取組に向けた環境づくり-